

ながただけじんじゃけいまいまいもく
51 永田嶽神社境内磨崖題目



指 定 平成元年4月1日 屋久島町指定記念物（史跡）
所在地 屋久島町永田

この花崗岩の自然巨石面には、
「明暦三年（1657）丁西南無妙法蓮華經 萬靈位 二月大吉日」
の文字が刻まれています。中央の「南無妙法蓮華經」は日蓮宗で唱える題目で、これは俗に「ひげ題目」と呼ばれる日蓮宗独特の見事なひげ文字が使われています。

永田嶽を望むこの地は、古くは山岳信仰の聖地であったと考えられていますが、ここに磨崖題目が見られることは、寛永六年（1456）日蓮宗の種子島布教を契機にして、屋久島でも信仰の定着があったことを示すものと考えられます。

また、山岳信仰と新たに布教された日蓮宗との関わりを表す、日増上人との興味深い伝承も残っており、明治初期の廃仏毀釈（神仏分離の考えにより寺院や仏具を破壊する運動）を生き残った損傷の少ないこの磨崖題目は、民俗的・宗教的に貴重な資料といえます。